

Annual Report

2022



- Our Mission p.3
- 2021年度の主なトピック p.5
- 数字で見るETIC. p.15
- FINANCIAL REPORT p.17
- 付録 p.21

- 2021年度の主なトピックの内容

全社

ソーシャルイノベーション事業部

ローカルイノベーション事業部(ローカルベンチャー事業)

ローカルイノベーション事業部(チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト)

クリエイティブ・シティ・チーム

and Beyond カンパニー

MAKERS UNIVERSITY

DRIVEキャリア事務局

DRIVEメディア編集部

※ ETIC.の2021年度は、2021年6月1日～2022年5月31日です。

※ 掲載情報は発行時点のものです。

※ 掲載されているQRコード・URLをクリックするとリンク先に飛びます。

Our Mission

はじめにわたしたちETIC.(エティック)のミッションを紹介します。
今回のアニュアルレポートでは2021年度の主なトピックを事業部やチームごとにお届けしますが、それぞれの根底にある共通の価値観です。

Entrepreneurial Training for Innovative Communities.

変革の現場に挑む機会を通して、
アントレプレナーシップ(起業家精神)溢れる人材を育みます。
そして、創造的で活力に溢れ、ともに支え合い、
課題が自律的に解決されていく社会・地域を実現していきます。

2021年度の主なトピック

(2021年6月1日~2022年5月31日)

事業部やチームごとに2021年度の主なトピックを紹介します。
取り組みの雰囲気や伝わる写真やご一緒にいる皆様からいただいたメッセージも掲載しておりますので、あわせてお楽しみいただければ幸いです。

スタッフ一人ひとりの起業家精神が発揮され、共創が生まれる組織を目指して——

2021年度のETIC.(エティック)は、創業から代表理事を務めてきた宮城治男の退任と、ピラミッド型から「自律分散型」の組織への転換という2つの大きな変化を経験しました。全社の経営はスタッフ誰でも参加できる自主経営推進会議が担い、ETIC.内外のエコシステムを豊かにする環境づくりはエコシステム共創チームが担うなど、新しい組織運営・経営のかたちに取り組んでいます。

Topic 01

ETIC.カンファレンス～一緒につくるETIC.作戦会議～

課題が自立的に解決されていく社会・地域の実現を目指す人々が集うイベントとして、ETIC.カンファレンスを開催。ETIC.のコーディネーターが中心となり、外部のステークホルダーの方も交えて、様々な社会課題解決のアイデアを共有する有意義な時間となりました。

Topic 02

Cafe 23rd –The Last Gathering

社会課題解決に事業でチャレンジする方たちが集い、自らの原点・志を見つめなおす場として1999年から毎夏開催していたイベント「Cafe」(Creative Action For the Earth)。代表だった宮城の思いからスタートした場でもあり、今回で一旦一区切りとなりましたが、お世話になった方々が集う温かい場になりました。

Topic 03

ETIC.ギャザリング(全社合宿)

1泊2日の合宿形式でスタッフ全員が集まるギャザリングを実施しました。「個人性の爆発」をテーマに、様々なワークや対話が満載の時間に。普段はリモートワークで働いている私たちですが、日常から離れて「余白」をつくることの大切さを実感できました。



ETIC.ギャザリングの集合写真(上)とその風景(下)

OBOGとともに起業家支援・インパクト可視化を促進、組織スタッフの支援も強化

Topic

01

19年間の起業家支援におけるインパクトを可視化

社会起業塾イニシアティブインパクトレポートを発行。塾生の成長を可視化し、予算規模の平均成長率4倍、事業に良い影響があったと回答する団体が90%を超えるなど、社会起業塾の価値を再認識できました。次の10年では、挑戦と応援を育むエコシステムをさらに豊かにし、これまで以上のインパクトをもたらしていきます。

Topic

02

20年の時を経て今、協働へ

認定NPO法人カタリバと休眠預金事業での協働を開始。日本全国で10代が意欲と創造性を育む居場所を立ち上げる団体を支援する”ユースセンター起業塾”にて、ETIC・カタリバそれぞれのノウハウを活かした事業立ち上げの伴走支援を行っています。初回は14団体を採択し、今後も対象数を拡大していく予定です。

Topic

03

NPO・ソーシャルビジネスの経営・インパクト拡大支援

社会の課題を解決する事業に取り組む人や組織の支援として、研修や、助成事業等のプログラムの企画・運営を行っています。現場をもつNPO・ソーシャルビジネスのリーダーと、プログラムへの資金提供者をコーディネートし、300人以上に組織基盤強化や、ソーシャルビジネスならではの事業づくり等の研修や、助成プログラムにご参加いただきました。



全国でユースセンター立ち上げを目指す14団体とキックオフ研修(東京・上野)

Message



今村久美さん
認定NPO法人カタリバ 代表理事

10代の教育事業を立ち上げた当初、ETIC.の社会起業塾に参加しました。あれから20年、ETIC.×カタリバの両者の専門性をかけ合わせ、2022年から”ユースセンター起業塾”がスタートしました。各地で奮闘する同志を応援できる立場になったこと、そしてETIC.から学び続けられることがとても嬉しいです。

Message



保田由布子さん
国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所 渉外・広報官

UNDPはアジア・太平洋の28か国・地域で、Citi Foundationと共にYouth Co:Lab(ユース・コーラボ)という取り組みを実施し、SDGs達成に向けた若者の社会起業とイノベーションを推進してきました。2019年からはETIC.の協力を得て日本でもこの活動を始め、育ててきました。ETIC.は、いつも未来志向で視野を広げてくださる、心強いアドバイザーです。

5年間で培った地方でのビジネス創出の仕組みを深化・高度化する第二期へ



愛媛県久万高原町での自治体合同合宿にて

Topic
01

ローカルベンチャー協議会第2期開始！

地方創生推進交付金に採択され、5つの幹事自治体(岡山県西粟倉村、北海道厚真町、宮城県気仙沼市、島根県雲南市、愛媛県久万高原町)と第二期を開始。地域の担い手、行政、企業のセクターを越えた共創による実証実験・事業開発を目的としたプラットフォーム「企業×地域共創ラボ」に企業9社15名が参画しました。

Topic
02

日本郵政との協働開始！ 5地域への社員派遣をコーディネート

日本郵政グループが全国5地域(宮城県石巻市、石川県能登半島、三重県尾鷲市、奈良県奈良市、島根県雲南市)の民間企業(ローカルベンチャー)と連携し、2年間の社員出向を通じて、共同で新規事業開発に取り組む新プロジェクト「ローカル共創イニシアティブ」がスタート。ETICは運営事務局・アドバイザーを務めています。

Topic
03

ローカルベンチャーラボ、英国財団助成でU-35枠開始

地方での起業や事業成長を支援する半年間のプログラム「ローカルベンチャーラボ」は、これまで6期を通して全国103の自治体から300名が参加。今期はスタンダードチャータード財団との連携で若手起業家支援制度を設立。全国から起業家が集まり、フィールドワークや事業メンタリングを通して、地域での事業創出を行っています。

Message



小林さやかさん
日本郵政株式会社 新規ビジネス室 担当部長

郵政グループ本社社員がローカルベンチャーに2年間出向し、ともに共創施策を進める「ローカル共創イニシアティブ」を進めています。この取り組みにおいて、価値観や文化が異なる立場の方たちが会話していくにあたって、「翻訳」ができるのが重要なポイント。ETIC.さん以上に翻訳が上手な組織と出会ったことはありません。また、企業の中で働く自分を「個人」として認め、応援して下さることで成長の機会をいただいています。

Message



小俣健三郎さん
NPO法人おっちらボ 代表理事

企業の目線と地域の目線はすれ違うところから始まりますが、それを丁寧に合わせていく対話が本当に重要です。ローカルベンチャー協議会(事務局ETIC.)の「企業×地域共創ラボ」は、目指す地域の未来に向けてともに強みを提供し合おうという共創的な対話を促してくれる場だと感じています。雲南市でもこうした対話を経てたくさんの連携が始まっています。

翌年に繋がる複数の新規プログラムの展開と、既存プロジェクトの刷新

Topic
01

副業から起業を目指すNAGA KNOCK!が始動

長野市の委託事業で、副業で新規事業立ち上げしながら、起業を目指すプログラムを実施し、長野市内13社の企業に21名の人材が参加(応募者400名)。結果、2名が登記しました。22年度も事業を継続し、13社15名程が参画。経営者と共に長野市で起業支援のコミュニティを創っています。他地域からも注目を集め、外部人材×地域企業の協働で関係人口創出や企業を目指す類似事業の実施に繋がっています。



NAGA KNOCK!ブラッシュアップ合宿の様子

Topic
02

三浦半島を舞台に 地域課題解決を目指すプログラムを実施

神奈川県の主催で、三浦半島の地域課題解決につながる起業や新規事業の創出を目指す取り組みをスタート。地域内外から計29名が参加。実践の支援を最大の特徴とし、商品やサービスを作成して販売まで至る、移住して新規事業を始める、参加者同士で連携して新しいプロジェクトを立ち上げるなど、地域に根差したプログラムならではの多種多様な活動が生まれています。

Topic
03

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクトが より自立分散型のネットワークへ

17年目を迎えたチャレンジ・コミュニティ・プロジェクト(チャレコミ)は42団体・155人のコーディネーターのネットワークに広がりました。それに伴い運営方法もより自律的な形に変更中。「地域にチャレンジの生態系をつくる」という思いに共感する仲間として、ETIC.がプログラムを提供するのではなく、相互に事業ブラッシュアップやメンタリング、勉強会、協働事業をする関係性に。南三陸で開催した3年ぶりのリアルイベントは東北に新たなチャレコミの仲間を増やす機会にもなりました。

Message



室田富美枝さん
長野市新産業創造推進局 係長

長野市の企業で副業しながら起業を目指す若者を県外から呼び込み、社会起業家を生み出すプログラム「NAGA KNOCK!」。経営者の思いに触れながら起業家を生み出すための新たな取り組みが始まっています。ETIC.と市の職員が共に歩むことで、若者がチャレンジできる環境づくりにつながりつつあると手応えを感じています。

Message



出口彩さん
おやこのあそびば こちょ 代表

3人育児の傍ら子育て支援団体を設立し、地域の子育て環境が少しでも良くなるよう活動しています。ETIC.のプログラム「好きなまちで仕事をつくる」に出会えたことで、一人でもやや考え込んでいたことが形になり、一歩踏み出す勇気をもらいました。卒業して1年以上経った今も頻りに意見交換し合える素敵な仲間にも出会えました。事務局の皆様には本当に感謝しております。今後ともよろしくお願いたします!

「思いある個人の創造的・越境的トランジション」を拡大する

Topic
01

TOKYO STARTUP GATEWAY 2021

東京発・400字から世界を変えるスタートアップコンテストTOKYO STARTUP GATEWAYを8年連続で開催(主催:東京都、事務局:ETIC.)。2021年度は1,047件のエントリーが集い、情熱とビジネスアイデアを磨きあう「若き起業家の登竜門」であり「お互いを応援し合うコミュニティ」として、未来をつくる若者が可能性に挑戦する舞台となりました。

Topic
02

ETIC. 774 × FC今治の挑戦

ETIC.が主催する「774 -Field Learning-」(ナナシ)と、元サッカー日本代表監督の岡田武史さんが代表を務めるFC今治がコラボし、次世代リーダー育成プログラム「BCU×774」を開催。はじめて出会う若者たちがチームを組み、2ヶ月で15万円を売り上げる超実践的な学びを通して、起業家精神を発揮する機会になりました。

Topic
03

Action for Transition、始動

起業家的に挑む個人を応援するオンラインコーチング「PLAY!」に加えて、越境的・創造的キャリアを目指すトランジション・アクセラレーター「Action for Transition」を、2022年3月に開始。狭義の起業だけにとどまらない「個人の起業家的挑戦」をこれからも力強く応援していきます！

Message



杉浦元さん
株式会社オウケイウェイヴ 代表取締役

私が「Action for Transition」に強く共感するのは、このプログラムが起業支援という枠にとどまらず、参加者の人生やリーダーシップを支援するものだからです。チームメンバーとの関係性に悩みながら困難を乗り越える経験を通じて、自分自身を見つめなおし、きっと新たな自分を見つけるきっかけになるでしょう。



TOKYO STARTUP GATEWAY 2021、THE FINAL(決勝大会) 表彰式の様子

Message



武尾昭秀さん
株式会社テツレ 代表取締役

ETIC.は起業を志望する方に新たな経験や意義深い学びを提供し、起業に向けて一歩を踏み出そうとする時に背中を押してくれる心強い存在です。私自身もTOKYO STARTUP GATEWAYや774の参加を通じ、ETIC.に集まる人々との出会いが起業のヒントやビジネスの種の発見、モチベーション向上にも役立てられたことに感謝しています。

意志ある挑戦を応援する新たな「機会」と「仲間」が大きく躍進！

Topic
01

Beyondカンファレンス2022 in 建長寺 鎌倉

「組織やセクターを超えて創りたい未来を創る」をテーマに、and Beyond カンパニー主催で総勢200名が鎌倉の建長寺に集まり2日間会議やワークショップを実施。「挑戦を育みたいなら応援が先。応援フルな社会がいいね」という趣旨の元、都市と田舎の共存、越境ワークの推進、これからの防災、D&Iなど様々な 이슈に、皆が集い考え、コレクティブにアクションが推進されました。



Beyondカンファレンス2022の集合写真

Topic
02

『Beyondワークβ』実証実験スタート

友人の起業を応援するように、共感したプロジェクトに3か月間期間限定で参画できる機会として、ロート製菓、アビームコンサルティング、ETICの3者で実証実験を開始。初回は、日本各地のまだ生煮えな実験的プロジェクト14件に、44名がエントリー。27名がプロジェクト参画中です。仕事をしながらも会社を飛び出し、誰もが気軽に挑戦できる機会づくりを目指して、パートナー企業を更に募りつつ、これからサービス化を進めます。

Topic
03

中学生120人が自由研究版のBeyondミーティング！

中学校の自由研究の中間発表でBeyondミーティングを実施。生徒も社会人も一緒になって「〇〇さんの自由研究がもっと面白くなるには？」という問いに夢中になりました。フィードバックをし合う楽しさ、友達に貢献できる嬉しさを感じる時間に。社会人とは50回以上行ってきたBeyondミーティングを、今後は小中高生にも広げていきます。参加した生徒からは「表し方は人によって違うので、自分だけのものを作ることが大切だと学びました」という声をいただきました。

Message



小檜山歩さん
アビームコンサルティング株式会社
デジタルプロセスビジネスユニット HCM セクターマネージャー

and Beyond カンパニー内で2022年に開始したBeyondワークだけでなく、リサーチや地方創生など、社会課題解決領域で様々な”共創”に取り組ませていただき、幅広い社員が社会課題との接点を持つだけでなく、個人としてのやりがいを見つけるきっかけや刺激をいただいています。

Message



三浦卓也さん
株式会社フェリシモ 執行役員 新事業開発本部副本部長

「誰一人取り残さない防災」をテーマに様々な企業、中間支援団体、研究者、専門家の方々と繋がり創ることができました。組織や立場の枠を超えて、創りたい未来を語り合う場がand Beyond カンパニー。社内だけで考えていても超えられない課題を超えるきっかけをつくっていただけたと思います。

MAKERS UNIVERSITY、「第2章」へ。

Topic 01

「高校への出張授業プロジェクト」発足

自分が心からのぞむ道を歩き出す若い人たちが溢れる社会を目指して、MAKERS UNIVERSITYの起業家たちと共に、全国の高校への出張授業プロジェクトをスタートしました。高校時代にMAKERSに集まるような起業家に会い、そして彼らと対話することで、より「自由に自分の未来は描いていいんだ、社会は自分の手で変えていくことができるんだ」と、高校生の進路や生き方に対する考え方は大きく変わります。まずと考えると、初年度は30校、将来的には年間100校での実施を目指します。派遣を希望する高校も募集中です。



Topic 02

MAKERSの研究が国際学会・SMS 42nd Annual Conferenceにアクセプト

国際経営とアントレプレナーシップが専門の慶應義塾大学SFCの琴坂将広先生と、琴坂研究室生でMAKERS6期生でもある山本愛優美さんが実施したMAKERS UNIVERSITYの「相互支援」についての研究が、Strategic Management Society(SMS) 42nd Annual Conferenceという世界的に有名な国際学会にアクセプトされました。

Message



勝見仁泰さん
株式会社アレスグッド代表取締役CEO
(MAKERS UNIVERSITY 7期生)

MAKERS UNIVERSITYは、常に自分に正直にいられる場だと思います。起業家であれば、「hard things」は付き物です。常に不確定要素の中でベストな意思決定を続ける。そんな生き物ですから、時には虚勢を張ったり、自分を繕ったりします。けれど、MAKERSに戻ると「本当の自分はどうか・本当にやりたいのか」など常に正直な気持ちでいられます。それは、同じく失敗や苦悩を共にした仲間がいるから開示できる”弱み”です。現役期間は1年間ですが、繋がりが信頼関係は一生続きますし、これからより大きな向かい風もあると思いますが常に自分に正直にいられる居場所であるMAKERSに感謝したいです。

Message



坂根千里さん
スナック水中 代表
(MAKERS UNIVERSITY 7期生)

私にとってMAKERS UNIVERSITYは、「お守り」みたいな存在です。MAKERS生とはあえて連絡を取り合わなくても「遠くで頑張っているんだろうな」と想像して自分を鼓舞できますし、うまくいかないことがあっても前を向くことができます。少しきつい時は、「MAKERS生ともうすぐ会える、それまでとりあえず頑張ろう」と思っています。着飾らなくても会えて、そして心地の良い刺激をくれる存在です。事業をしている時は基本的に孤独です。ただ、自分で決めたことだから誰かにこの孤独感をわかってもらいたいわけでもありません。だからこそ、実際に事業のアドバイスをもらうわけではなく、すがりたいわけでもなく、「あいつも頑張っているから自分も自分の戦いをもう少し頑張ろう」と思わせてくれるお守りです。

スタートから9年。継続の蓄積と時代の変化を感じた1年に

Topic 01

求人掲載数、エントリー数とともに過去最高を更新

DRIVEキャリアは「世界を変える、未来を創る仕事に出会う求人サイト」です。ETIC.まわりの団体の皆さまに多くお使いいただいた結果、ソーシャルセクターの求人記事が常時100件前後掲載され、エントリー数は年間で約1000人になりました。2013年にDRIVEキャリアがスタートし、今年で9年。継続の蓄積が、少しずつ数字に反映されてきており、手ごたえを感じています。

Topic 02

リモートワークや副業など、働き方の自由度が高まる

SDGsへの意識の高まり、副業解禁などの社会の動きもあり、オンラインかつ業務委託で社会課題解決に関わりたい、という求職者のニーズが増えました。求人側も、リモートワークが普及したことを受け、場所にとられない働き方が広がりました。愛知の案件に神奈川から参画するなど、今までになかったマッチングが生まれています。

Topic 03

世界的スポーツ大会を支える仕事で、若者に挑戦の機会を提供

世界的スポーツ大会のスタッフ募集を通し、コロナで挑戦機会を奪われがちだった若者たちに機会を提供しました。コロナ禍により、留学や旅行など数々の挑戦、体験の機会が奪われた若者たちに向け、世界的スポーツ大会のスタッフ募集を呼びかけました。結果的に、総勢200名超(多様な年代の方々含む)の方にご参加いただきました。



定期的にテーマに添った求人を集めて特集を組んでいます。

Message



岡本拓也さん
千年建設株式会社 代表取締役/NPO法人LivEquality HUB 代表理事
(DRIVEキャリア利用者)

「DRIVEキャリアなくして、今のLivEquality(リブクオリティ)はありえない」そう言い切れるほど、DRIVEキャリアを通じて出会った皆さんは、今や中核として事業を引っ張ってくれています。コーディネーターの皆さんの温かい伴走とセクターへの理解、そして応募してくる人材層とのマッチング、どの観点を切り取っても、他の人材紹介サービスにはない唯一無二の価値があると実感しています。心からオススメします。

Message



今井悠介さん
公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン 代表理事
(DRIVEキャリア利用者)

事業の成否を分ける、最も重要な要素が「人」です。DRIVEキャリアさんから、素敵なお縁をたくさんいただき、多くが団体の主力メンバーとして活躍しています。DRIVEキャリアのすごいところは、単なる紹介ではないところ。人材採用や育成、組織のいろんな悩みの相談に乗っていただいています。DRIVEキャリアの皆さんは、私たちにとって、社外にいる人事部のような存在です。

ETIC.に集まる「挑戦」を記事にして届ける1年に

Topic
01

記事数が1000件を突破！

DRIVEメディアは人が行動するきっかけをつくるために、2013年に運営が始まったETIC.のオウンドメディアです。様々なテーマのコンテンツを日々お届けする中で、2021年度に掲載記事が1000件を突破。信頼されるメディアを目指してこれからも発信を続けていきます。

ツクルゼ、ミライ！ 行動系ウェブマガジン[DRIVE]

DRIVE

by ETIC.

Topic
02

DRIVEメディア編集部おすすめの記事をピックアップ



“組織変革の真っ只中にあるETIC.の現在地も、DRIVEメディアで記事として読者の皆さんにお伝えしています。”

自分たちの組織を自分たちの手でつくる。
ETIC.の組織改革の現在地

<https://drive.media/posts/31142>



“ETIC.の中で立ち上がる様々なプロジェクトの裏側も、インタビューなどを通して紹介してきました。”

抽選で決まる理系女子のための奨学金がスタート。メルカリ共同創業者・山田進太郎さんと富島寛さんが再びタッグを組む理由

<https://drive.media/posts/30986>



“今まで掲載してきた記事もテーマごとにまとめることで、より読者の皆さんに役立つ形にしていきます。”

「NPOで働く」には？給与、やりがい、ミッションへの共感…就職する前に読んでおきたい記事まとめ

<https://drive.media/posts/31291>

Message



宅美浩太郎さん
編集者

ETIC.さんとは、ウェブマガジン『DRIVE』の運営協力・外部アドバイザーとしてお力添えをさせていただいております。誰に何を届けるべきか、いつも真摯にメディアと向き合われている姿に感銘を覚えています。1人でも多くの人の「行動するきっかけ」となり続けることを願ってやみません。

Everyone can be an entrepreneur.

数字で見るETIC.

2021年度の主なトピックでご覧いただいたように、ETIC.では年間を通じて様々なプログラムやイベントを実施しています。ここではその定量的な情報を2021年度と累計にわけて紹介します。

【2021年度】
プログラム・イベント参加者数合計

11,367名

次世代リーダー層 若者向けプログラム/大学での講義	9,064名
アイデア層 ビジネスコンテスト/マイプロジェクト	1,156件
シード・スタートアップ層 アクセラレーション/リーダーシップ研修	408件
グロース層 資金調達支援/人材マッチング支援	605件
インパクト層 個別アジェンダ推進	134件

【累計】
輩出起業家数

1,915名

ETIC.は設立当初からアクションの伴う実践型の人材育成を大切に、参加者から多数の起業家を輩出。先輩起業家たちが次の世代を支援するためにメンターや寄付者になるといった循環も(※)

(※)参考:2020年度のメンター総数は107名で、
そのうちETIC.プログラムOBOGの人数は50名でした。

【2021年度】
実践的なプログラムへの参加者数合計

1,366名

学生	社会人	起業家・ 社会起業家
512名	448名	406名

左記の参加者数合計のうち、特に実践的なもの(インターンシップ、兼業・副業、社会起業家の創業支援、プロジェクト推進など)の参加者数合計です。

【累計】
実践的なプログラムへの参加者数合計

約 12,500名

いままでにETIC.の手がけた様々な実践的なプログラムを通して、多くの方々が変革・創造の現場に参画しています。

FINANCIAL REPORT

活動計算書(2021年6月1日から2022年5月31日まで)

(単位:円)

一般正味財産増減の部			
I 経常収益			
1	受取会費		82,000
2	受取寄附金・協賛金		126,743,657
3	受取助成金等		217,879,898
4	事業収益		
	①起業家型リーダー育成事業収益 (次世代リーダー育成事業、震災復興事業)	78,109,785	
	②起業家型リーダーを育む社会基盤創造整備事業収益 (ソーシャルイノベーション、ローカルイノベーション事業、メディア事業)	301,596,698	
	③職業紹介事業収益(人材紹介事業)	232,348,103	
	④その他この法人の目的を達成するために必要な事業収益	-	612,054,586
5	その他収益		13,895,463
	経常収益計		970,655,604
II 経常費用			
1	事業費		
	①人件費	203,634,455	
	②その他経費	597,763,759	801,398,214
2	管理費		
	①人件費	83,102,225	
	②その他経費	29,844,208	112,946,433
	経常費用計		914,344,647
	当期経常増減額		56,310,957
	当期経常外増減額		△ 408,460
	税引前当期一般正味財産増減額		55,902,497
	法人税、住民税及び事業税		12,850,061
	当期一般正味財産増減額		43,052,436
	一般正味財産期首残高		130,026,643
	一般正味財産期末残高		173,079,079
指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額		△ 101,995,180
	指定正味財産期首残高		200,993,209
	指定正味財産期末残高		98,998,029
	合計正味財産期末残高		272,077,108

貸借対照表(2022年5月31日現在)

(単位:円)

I 資産の部				
1 流動資産				
	現預金		422,857,319	
	(内基金残高	98,998,029)		
	その他流動資産		36,032,355	
	流動資産合計			458,889,674
2 固定資産				10,002
	資産合計			<u>458,899,676</u>
II 負債の部				
1 流動負債				112,432,568
2 固定負債				74,390,000
	負債合計			<u>186,822,568</u>
III 正味財産の部				
1 一般正味財産額				
	前期繰越一般正味財産額		130,026,643	
	当期一般正味財産増加額		43,052,436	
	当期末一般正味財産額			173,079,079
2 指定正味財産額				
	前期繰越指定正味財産額		200,993,209	
	当期指定正味財産増加額		103,977,544	
	一般正味財産への振替額		205,972,724	
	当期末指定正味財産額			98,998,029
	正味財産合計			<u>272,077,108</u>
	負債及び正味財産合計			<u>458,899,676</u>

指定正味財産の内訳(2021年6月1日から2022年5月31日まで)

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
震災復興基金(東日本大震災)	7,969,736	564,411	3,127,376	5,406,771	震災復興目的
東北グローバルチャレンジ	16,257,197	0	16,257,197	0	地域課題に取り組む者に対する実践的研修事業
組織基金	48,041,330	9,956,000	966,265	57,031,065	新たな事業・プログラムのための準備費用
休眠預金事業基金	61,465,041	90,197,133	128,982,368	22,679,806	子供の未来のための協働促進助成事業
コロナ禍共創アクション基金	3,163,728	0	3,163,728	0	コロナ危機と対峙し未来のための協働共創事業
医療従事者支援基金	3,721,180	0	0	3,721,180	医療従事者の支援事業
スクールプラットフォーム基金	2,778,302	0	14,243	2,764,059	教育・学びの未来を創造するプラットフォーム
次世代SDGsリーダー育成基金	21,419,859	0	21,419,859	0	次世代のSDGsリーダー育成
家業経営革新プログラム	14,026,836	0	14,026,836	0	家業経営を革新するためのプログラム
家賃基金	16,150,000	0	9,246,600	6,903,400	当法人家賃のための寄付金
ローカルベンチャー基金	6,000,000	0	6,000,000	0	地方発ベンチャー創出のためのエコシステム事業
災害右腕基金	0	3,260,000	2,768,252	491,748	災害発生時のリーダーの右腕派遣のための事業
合計	200,993,209	103,977,544	205,972,724	98,998,029	

付録

最後までお読みくださりありがとうございます。

付録として各事業部・チームに関する各種URLを紹介します。これからも日々情報をキャッチアップしたいと思ったださった場合にご活用いただければ幸いです。

●ETIC. Letter(ニュースレター)

ETIC.のまわりで起きていること、わたしたちが感じていることをメールでお届けします。具体的な起業のプランがある方も、いつかなにかやってみたいという方も、「ETIC. Letter」で行動するきっかけを見つけていただけたら嬉しいです。

- ・配信頻度 月1~2回配信(不定期)
- ・新規登録フォーム <https://www.etic.or.jp/mailnews>



ETIC. Letter
新規登録フォーム



●ETIC. Facebookアカウント
<https://www.facebook.com/npoetic>



●ETIC. Twitterアカウント
https://twitter.com/ETIC_NPO



●ETIC. noteアカウント
https://note.com/etic_npo



●ETIC.コーポレートサイト
<https://www.etic.or.jp>

●ソーシャルイノベーション事業部



Twitter
https://twitter.com/etic_social



note
https://note.com/etic_social



メルマガ
<https://www.etic.or.jp/socialmail/>

●ローカルイノベーション事業部(ローカルベンチャー事業)



Facebook
<https://www.facebook.com/localventurelab>



Twitter
<https://twitter.com/LvSummit2020>



WEB
<https://initiative.localventures.jp>

●ローカルイノベーション事業部(チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト)



Twitter
https://twitter.com/_challecomi



note
https://note.com/challenge_comm



メルマガ
<https://www.challenge-community.jp/mailnews/>



WEB
<https://www.challenge-community.jp>

●クリエイティブ・シティ・チーム



TOKYO STARTUP GATEWAY
<https://tokyo-startup.jp/>



774
<https://www.774-nanashi.com/>



PLAY!
<https://play-etic.com/>



Action for Transition
https://note.com/ta_etic/

●and Beyond カンパニー



Twitter
https://twitter.com/aBC_BeyondCo



note
<https://note.com/beyondmeeting>



WEB(and Beyond カンパニー)
<https://andbeyondcompany.com>



WEB(Beyondミーティング)
<https://bm.andbeyondcompany.com/>

●MAKERS UNIVERSITY



Twitter
https://twitter.com/MAKERS_U



note
<https://note.com/makersuniversity>



WEB
<https://makers-u.jp>

●DRIVEキャリア事務局



Twitter
<https://twitter.com/DrivecareerETIC>



Facebook
<https://www.facebook.com/DRIVE.ETIC>



note
<https://note.com/drivecareer>



LINE
<https://lin.ee/IMQnIIM>



WEB
<https://drive.media/career>

●DRIVEメディア編集部



Twitter
https://twitter.com/Drive_etic



WEB
<https://drive.media>

●そのほか(School Platform)



note
<https://note.com/schoolplatform/>



WEB
<https://www.schoolplatform.org/>

ETIC.アニュアルレポート2022

発行日:2022年12月15日

発行元:NPO法人ETIC.

